

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	津波避難シェルター小委員会	主 査 名：川上善嗣 就任年月：2022 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	海洋建築小委員会	委員長名：桜井慎一 主 査 名：
設 置 期 間	2022 年 4 月 ～ 2026 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>津波避難困難地域の避難手段として、各企業から自航機能を持たない津波避難シェルターが開発・発売され、各自治体や民間企業への導入が始まっている。小委員会発足時点では、船舶用救命艇の仕様を準用し開発されたものが多くみられるが、それらの仕様を包括的・網羅的に、かつ居住性や安全性に関してまとめられた資料は見当たらない。そこで小委員会では、津波避難シェルターの仕様・居住性・安全性などに関して事例調査と資料収集を行い取りまとめ、今後の津波避難シェルターの導入のために参考となる資料を作成することを目的とする。</p> <p>初年度：委員相互の情報共有と小委員会運営の方針を確定する 2 年度：資料収集【研究協議会準備の】 3 年度：情報公開用資料の整備と制作【研究協議会担当】 4 年度：研究協議会等での報告とまとめ【大会 OS で成果発表】</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：川上善嗣 (広島工業大学) 幹事：相田康洋 (日本大学) 委員：遠藤 洋平 (信州大学)、遠藤 龍司 (職業能力開発総合大学校)、桜井 慎一 (日本大学)、高橋 武宏 (一条住宅研究所)、寺口 敬秀 (日本大学)、中西 三和 (巴技研)、濱本 卓司 (東京都市大学)、藤田 謙一 (長崎総合科学大学)、星上 幸良 (日本大学)、堀口 俊行 (防衛大学校)、矢代 晴実 (防衛大学校)、山本 和清 (日本大学)、和木 洋 (H.R.D. SINGAPORE)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2022 年度予算	無 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	7 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>1. 委員会の開催は研究協議会を担当することが確定後、頻繁に開催し、本年度は7回開催することができ、研究協議会に向けて委員相互の情報共有ができ、概ね本年度の目的は達成したものと考える</p> <p>2. 津波避難シェルターの定義は委員会開催を通して多面的に捉え、研究協議会に向けて様々な知見を集約できた。</p>
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<p>特に問題なし</p>

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

*表中の赤文字「(設置目的) (書名) (名称) (資料名)」は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。